



あけまして おめでとうございます。



2011年、皆さまは新しい年をどのように迎えられたでしょうか？

つい、この前、「ミレニアム！」と大きな期待とともに突入した21世紀も、はや11年目！！

本当に時の経つのは、早いものです。

年末年始は、大掃除、大みそか、お正月のイベントなどなど、いろいろと忙しい数日間だったのではないのでしょうか。特にお正月は、家族以外の人との関わりも多く、楽しいだけでは済まないアクシデントもあったかもしれませんね。お子さんにとっては、いつもと違う出来事は、喜びやとまどいなど感じ方はそれぞれです。想像もしない反応を見せる場合もあるでしょう。

季節の行事は、私たち大人にとって「毎年」のことなのですが、お子さんの成長にとっては大きな節目でもあります。1年前のお正月と今年のお正月の違いにお子さんの成長の証しが、見つけられたのではないのでしょうか。少し面倒なイベントも、お子さんが心地よく過ごせる工夫をしながら、その成長を確かめられる機会にできるといいですね。

ところで、子ども発達センターでは昨年10月から、おもちゃ清掃業務委託を市内2か所の障害者施設にお願いしています。毎日、午後か午前のどちらかに来館し、数名でボールプールのボールなどのおもちゃ清掃をしてくれています。メンバーの中には、あゆみ学園卒業生もいらして、立派な青年となった彼らに再会することができた私は、このことでも、成長の力の素晴らしさを実感させてもらっています。

おもちゃ清掃のメンバーには、保護者のみなさんも、来館の際にお会いすることもあるかもしれません。彼らも送迎バスの運転手さんやフロア清掃をお願いしている業者さん達とともに、お子さんが気持ちよく、センターを利用できるよう頑張ってくれている皆さんです。これからも、よろしく願いいたします。

子ども発達センター長 田中 けい子



エネルギーの源

ある寒い朝、センターへ向かう道で「田崎さん、おはよう！」と元気な声が後から聞こえてきました。振り返ると、パンの製造と販売を行っている事業所に通っているAさんでした。私がその職員だったのはもう10年も前の話ですが、Aさんは今でもお会いするたびに声を掛けてくださいます。

「田崎さんは今、あゆみにいるんだよね。風邪引かないように気をつけて頑張るね！」と別れ際に手を振ってくれました。私が言おうと思っていた言葉を先に言われて、私は「ありがとう！」と慌てて返すだけでした。Aさんは、あゆみ学園の出身です。私は今まで、事業団の施設で多くのあゆみ学園の先輩方にお会いしてきました。表現は様々ですが、どの方にもAさんのようなやさしさを感じ、そして、どの方にも生きる力強さを感じていました。「あゆみ学園出身の方は何が違う…」とずっと思っていたのですが、あゆみの担当になって、ようやくその謎が解けました。

幼児期のあゆみ学園での経験が活かされていることは当然なのですが、その方の持つやさしさや生きる力は、保護者の方のエネルギーが源なのでは…と感じました。さらに、そのエネルギーの源は、保護者の方たちの『ネットワーク力(つながる力や支えあう力)』なんだろうなと手作りパンを味わいながら強く思いました。

通園事業あゆみ 園長 田崎 明子



保健担当より

ご家族で楽しい年末・年始をお過ごしになられたことと思います。

この時期は何かと大人の生活に合わせがちになるため、お子さんにとって少々無理なスケジュールも続いたかもしれません。

生活リズムを整え体力に合わせた活動を心がけ、この冬ののりきりましょう。

冬は新型・季節性インフルエンザやノロウィルス・ロタウィルス等感染性胃腸炎が流行る季節です。

手洗い・うがいを励行し、不要な人混みの外出をさけて体調に気をつけていきましょう。

年頭にあたり、子どもの成長に大切な生活リズムの「睡眠」「遊び」「食事」の三本柱を見直しましょう。

生活リズムは食事の時間と起床、就寝時間を決めていくと整いやすいです。

「睡眠」- 早寝・早起きを心がけ、休日でも起床・就寝時間は1時間程度の差におさえます。成長や代謝を促進する成長ホルモンの分泌は夜間睡眠と深く関わりますので、眠りにつきやすいよう絵本の読み聞かせなどの入眠儀式を習慣にしていくと良いです。

「遊び」- 冬の寒さも皮膚やからだへの刺激として抵抗力をつけていくので、お天気の良い時のお散歩や公園も良いです。遊びで色々な体験をすることやからだを使うことは大切です。

「食事」- 食事を楽しくとれるよう、コミュニケーションも大切にしましょう。平日の朝食や休日の夕食などご家族で食卓を囲むことができるように工夫しましょう。

食事は主食(炭水化物 ごはん・パン・麺)・副菜(野菜・いも・海藻)・主菜(たんぱく質 肉・魚・大豆)・乳製品(牛乳・ヨーグルト・チーズ)・果物(りんご・バナナ・みかん)をバランスよくとれるよう心がけましょう。

冬の乾燥にはのどを潤すための水分補給も大切です。

生活リズムは基本的な生活習慣を身につけていくうえでも大事です、ご家庭で環境づくりをしていきましょう。



道路が川に！！

昨年9月と12月の大雨では、子ども発達センター前の道路が冠水して、川のようになっていました。道路だけでなく歩道までも水浸しで保護者の皆様には大変ご迷惑・ご心配をおかけいたしました。この西町地区は汚水と雨水を分けて集水する分流式を採用していて、雨水は自然にやさしい浸透型なのです。しかし、徐々にいろいろな施設が建設されてコンクリート地面が増え、また、昨今の集中豪雨のような異常気象では、雨水浸透処理能力を超えてしまっているようです。立往生していた車もありましたが、お子さんはじめ保護者の皆様に事故が無くて本当に良かったです。

川のような道路に目を輝かせていたお子さん、車や自転車が水の中を走って、とても喜んでいただいていたお子さん・・・楽しんでいただいていたお子さんの様子を見て、不安感が笑顔になって救われました。保護者の皆様には大変ご迷惑をおかけし、誠に申し訳ありませんでした。

対応として関係機関に相談・交渉し、11月には道路わきにある雨水ますの深さ60cmのものを2m50cmまで掘り下げ、雨水の浸透を強化する工事をしていただきました。また、落ち葉等のごみによる詰りを軽減するフィルターも整備いたしました。まだまだ不十分ですが今後も引き続き対策を検討していただいていますので、ご理解いただきますようよろしくお願いいたします。





グループ・クラスの紹介をします！

センターでは「通園事業あゆみ」に4クラス、「発達支援事業」に26グループがあります。1階では毎日何をやっているのだろうか？2階はにどんなグループがあるのだろうか？そんな風に思っても、たくさんあるグループやクラスの様子はなかなか分からないことと思います。今回は各グループやクラスの特徴を日々のグループ、クラス紹介という形でお伝えします（発達支援事業は一部のグループの紹介となります）。

幼児グループ



らっこグループ

らっこグループは6人のグループです。らっこグループでは今、「子どもの王様」がブレイクしています。みんな王様になりたいのですが自分の順番が来るまで待っていられます。そして自分の順番になると、みんなの輪の中心で王様の冠をかぶって、得意そうに嬉しそうに踊り、次のお友達に冠を渡してくれます。かわいい王様の姿を職員も毎週楽しみにしています。



いるかグループ

4月から繰り返し行っているヨーイドンは、カード貼り・後ろ向き歩きや、2人でパンダの人形を運ぶような友達を意識して行う課題を取り入れてきました。そして、今はゴールした子と、待っている子でハイタッチして喜びを分かち合う仲良しグループです。みんなのお気に入りの手遊び“ワニの家族”では、みんなでおしりをフリフリしている後姿がなんとカワイイです。



くじらグループ

と・に・か・く、元気のいいクラスです。現在は4人のお子さんが通っていますが、朝、バスを降りてから帰りにバスに乗るまで、隙があればみんなで体を動かしています。大人も負けじと体を動かすので終わった時はヘトヘトです^_^；朝のお集まりではみんなの前に座って、「お名前は？」とか、「朝ごはんは？」などのインタビューを受けます。みんな自分の番が待ち遠しくてソワソワし、順番が回ってくると少し照れた顔をしながら答えてくれます。



しろくまグループ

年長さんを中心に、年長・年中のお子さんのグループです。文字や数字、記号に興味を持っているお子さんが多いので、それらをあそびや課題の中にも取り入れて楽しんでいます。9月からはお当番活動も始めました。カードで作った日付や出欠表を読み上げたり、食事の準備を手伝ったり、連絡帳を配ったり、みんなとても張りきっています！最近グループとして初めて散歩にも出かけました。色々な活動を通してお友だちとの仲間意識が高まっているように感じる今日この頃です。



ぺんぎんグループ

年少さん4人のお友達でスタートしたぺんぎんさん。途中から3人のお友達も加わって、プールやヨーイドン、新聞遊びetc...をみんなで楽しみましたね。お母さんと分離ができるようになったり、自分の気持ちを少しずつ表現できるようになったり・・・数か月でみんなそれぞれに成長しましたね。今のみんなのお気に入りの「がちがちどんどん」の絵本「もう1回！」のリクエストが止まりません（笑）



2歳児グループ



ぶどうグループ



グループが始まった当初は不安そうな表情を見せていた、ぶどうグループの子どもたち。でも、ボールの海や小麦粉粘土、そして色水あそびと、繰り返し行うことで、“ドキドキ”から“ワクワク”に、“なんだろう？”から“これ大好き！”に、いつしか変わっていきました。頭をなでなでしたり、おもちゃを渡してあげたり、お友だちとの関わりも増えてきたメンバー。ほほえましい姿に、職員の顔も自然とほころんでいます。



りんごグループ

5月にスタートしたりんごグループ。だんだんお友達が増えていって、6人のグループになりました。集団で遊ぶ場が初めてというお子さんも多い2歳児グループ。興味や好きなものを見つけていけるよう小さいステップで遊びを広げていきました。初めてのことへのドキドキや不安もお母さんやお父さんと一緒に少しずつチャレンジして、「次は何かな？」と期待の表情もたくさん見られるようになりました。これからもみんなの「楽しい！」の笑顔がたくさん見られるような遊びをしていきたいと思います。



みかんグループ

みかんグループは9月からスタートしたグループです。当初は2人でスタートしましたが、今は5人となりになりぎやかになりました。みかんグループではサーキットやからだ遊びを楽しんでいます。サーキットではマット山を登ったり転がったり、ジャンピングマットでジャンプしたり体をたくさん動かしています。みんなの熱意でお部屋の中もポカポカしてくる位です。お友達同士の関係も楽しくなってきました。



いちごグループ

元気のいい子ども達です。お友達にも仲間意識が育ってきて、お部屋で会うと満面の笑顔になり、追いかけてこが始まります。「次はボクを追いかけて！」とアピールもばっちり！集まりも大好きで名前を呼ばれた後の握手を心待ちにしてくれています。少し前は「トントントンアンパンマン」の歌が大好きでしたが、今は「数字のうた」の紙芝居を、じっくり見ながら、時々手振りも真似をして楽しんでいます。2Gのお部屋で体をたくさん動かして遊んでいます。



ももグループ

手拭きタオルをかけたり、椅子を運んだり、どんどん自分でやってみることが身についてきたみんな。大好きなパネルシアターでは、歌に合わせて自分で選んだ車やおもちゃのパネルをボードに貼りに行くことを楽しんでいます。

親子での「ヨーイドン」や「体あそび」を通じて、おんぶや抱っこでしがみつく力もついてきましたよ。

1歳児グループ



たんぼぼグループ

みんなが楽しみにしていることは、お集まりで登場するプーさんとネコの人形です。順番でプーさんとネコが自分の所へ来るのを、目をキラキラさせ期待して待っています。お茶タイムでは、お互いがお友達の水筒を気にして、のぞき込み合っている姿が可愛いたんぼぼグループです。



つくしグループ

10月から4人のお友達でスタートしたつくしさん。みんなの日頃の行いがよく(?)いいお天気が続いたので、広場にお散歩に行きました。シャボン玉を見て「わあ！」と喜ぶお友達や、ボールを上手に転がして得意なお友達……。みんな外遊びを満喫していましたね。集まりやからだ遊びもみんな大好き！「キュウリができた」や「一本橋」etc...の手遊びをお母さんと一緒に笑顔いっぱい楽しんでいました。



通園事業あゆみ

(9、10月の園だよりから抜粋)



うさぎクラス



楽しかった夏のプールあそびの後は、小麦粉粘土や片栗粉遊びを行っています。春には苦手だった子ども達も少しずつ触れるようになってきたり、さらに大胆に遊んだり、思い思いに感触遊びを楽しんでいます。秋には積極的に散歩へと出かけました。広場では、シャボン玉を見て、大きな声で笑う姿や、走って追いかける姿、広い芝生の上を「ヨーイドン！」と職員の下まで走る姿など、一人ひとりがおひさまの下でのびのびと遊ぶことが出来ました。始めはどこに行くかと心配そうだった子ども達も、回を重ねるごとに安心して帰ってくるようになりました。集まり後のおもちゃの時間では、新しいおもちゃが出てくるとみんな視線が一気に集まります。プリキュアやしまじろうのパズル、水入りペットボトルのおもちゃなどが、最近の売れ筋です！



りすクラス

プールが終わり、広々とした屋上で秋晴れの日、ヨーイドンで走ったり、シャボン玉をしたり、三輪車に乗ったり…という楽しみが増えました。制作では、包装紙で「ねこ」「ブタ」「かぼちゃ」と色々な帽子を作りました。みんな、嬉しそうにかぶって、鏡の前でチェックしている姿がかわいいらすさんです。変身大好きな子ども達、色々な衣装を作って、楽しんでいきたいです。課題の間には、お友達同士でおかけっこをしたり、手をつないで輪になって遊んだりする姿がよく見られています。スポーツの秋！たくさん運動をしています。一本橋に空中ブランコ、マットでのでんぐり返しなどなど…。回を重ね、それぞれコツをつかんできたようです。お友達の「がんばれ！」の応援で、さらにチャレンジする気持ちが強くなります。そして、最後の決めポーズ。それぞれが考えたオリジナルのポーズを披露してくれることが増えていて、お友達がどんなポーズをするのか、みんな楽しみにしながら見えています。一番盛り上がるのは、みんな一緒にヨーイドン！『お友達と一緒に楽しむ』ことが大好きなりすクラスです。



こあらクラス

プール前の準備体操代わりにやっていたリズム遊び。みんなとっても好きなので、9月以降も続けています。「ミッキーマウスマーチ」ぴょんぴょん跳んだり、両手をゆらゆらしたり、元気いっぱいの体操です！「さんぽ」行進しながらタンバリンや鈴を鳴らしています。「崖の上のポニョ」サテン布のきれいなカーテンをくぐって遊んでいます。「なみよ」「おつきさま」「おふね」短い簡単なメロディに合わせて二人組になって踊ります！これからもレパートリーを増やしていきたいです！

体を動かすことが大好きなこあらクラスなので、ポカポカな日に散歩や前庭に出て過ごしています。特に、この季節は枯葉を踏んだり、葉っぱや木の実を拾ったり、自然に目を向けながら、どの子も散歩を楽しめました。集まりでは、絵本の読み聞かせをしています。絵本に子ども達は興味津々！最近では、絵本の時間になると「かん、かん、かん！」「おしくらまんじゅう～！」と絵本のフレーズを言って、リクエストする姿も多くなりました。普段でも出して欲しいおもちゃや、やりたい遊びをどの子も伝えることが増え、成長を感じます。



ぱんだクラス

さわやかな秋空の下、飛行場の滑走路わき遊歩道まで、手をつないで歩き、飛行機の離着陸をキラキラとした目で嬉しそうに見ているぱんだの子ども達。夏はせみの抜け殻をたくさん集め、持ち帰ってお母さんをビックリさせましたが、秋は木登りやダンゴ虫探しで盛り上がっています！制作では、さつまいもやドングリを作ったりと、秋を満喫しています。また最近、縄とびに挑戦しています。まだ「大波小波」に合わせて跳ぶまでには到達していませんが、へびさんのおかげによる跳びはみんな大好きです。そして、おみこしの再利用で、ペットボトルを竹の代わりにしてバンブーダンスを始めてみました。こちらもおうちへ跳んだり、こっちへ跳んだり、足を閉じたり開いたり、リズムカルに跳ぶのはまだまだですが、雰囲気では十分楽しめています。



通園事業あゆみ

秋の行事の様子



さわやかな秋風に吹かれながら、長時間（宿泊）療育や遠足では、バスに乗って、ちょっぴり遠出をしました。お部屋の中とは違う開放的な笑顔が印象的でした。

遠足

10月27日（水）に遠足に行ってきました。お天気がよければ井の頭自然文化園に行く予定でしたが、あまりの寒さのため、急遽前日に行き先を変更し、渋谷の都立児童会館へ通園バス2台と、京王線に乗る2チームに分かれて行きました。館内は乗用玩具コーナーや木材を使って車等を作れる工作室、プラレールやままごと、ミニアスレチックのあるキッズコーナー。自由に色々な楽器を使って遊べる音楽コーナーや、パソコンルームなどなど、1日では全て回りきれないほどの魅力的な遊び場がたくさんあり、子ども達は集合写真を撮った後、「それいけ～」と目当ての場所を目指して出発して行きました。4～5人ずつのグループ行動でしたが、たくさんのボランティアさんのご協力もあり、思い思いの場所でたっぷり遊べた子ども達、おいしいお弁当を食べ「楽しかった、また来ようね」と笑顔いっぱいの日でした。

長時間宿泊療育行事

10月22日（金）23日（土）に4、5歳児さん対象で長時間、宿泊療育行事を行いました。天気にも恵まれ、みんな元気に参加しました。4歳児さんは2時30分までの通常療育の後、バスに乗ってちょっと遠い公園へ出かけ、広い場所で走ったり、大型遊具で遊んだり、みんな思い思いに公園を楽しみました。5歳児さんは、三鷹ジブリ美術館でネコバスに乗り、館内散策、そして映画を楽しみました。そして4、5歳児合流してレストランで夕食です。お子様ランチやハンバーグなどニコニコ顔でした。その後、4歳児さんは午後7時に降園し、5歳児さんはお泊り体験です。援護施設なごみでお風呂を借り、大きなお風呂でのんびり入浴をしました。1日たっぷり遊び、センターでおやすみなさい！朝までぐっすり。朝食のあと朝の散歩をして、みんな元気におうちへ帰りました。



i-ファイルをご活用ください

子ども発達センターでは、「i-ファイル」を配付しています。このファイル、どのようなものかご存じですか？i-ファイルは、子どもたちが健やかに成長するために、保護者と様々な機関が連携・協力して支援できるように、お子さんの様子やこれまでに受けてきた支援の内容などが書き込めるようにしたものです。

これから保護者の方にお渡しする「就学支援シート」や「支援のまとめ」をこのファイルに挟んでおくと、お子さんの情報を1冊にまとめることができ、新しい機関のスタッフに見せることで、お子さんが一貫した継続的な支援を受けることが可能になります。

また、ファイルの中には「保健シート」や「医療シート」等が入っていて、そこに情報を書き込んでおくと、就園時や就学時などいろいろな書類を記入する時に役立ちます。いろいろ記憶も曖昧になりますので、ぜひi-ファイルにお子さんの情報をまとめて、ご活用ください。



子ども発達センター保護者の活動より



あゆみ父母会（通園部門）



通園事業父母会では、実り多き秋から冬へ、活動も大きく膨らみ展開しています。12月22日は子どもの集いがありました。プレゼント、出し物など保護者一人ひとりの協力のもと、とても楽しい会になりました。1月12日に行われる親睦会も3回目となりました。父母間の交流もますます充実しています。2月1日には就学勉強会を予定しています。これからも情報交換や交流の場として盛り上げていきたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひいたします。

スクッピー友の会



第2回のおしゃべり会のご報告。

11月29日のおしゃべり会は1回目でのアンケートよりテーマを「習い事について」と「発達センターの交流会アイデアについて」にしぼり、話をしました。参加者は14名。

今回は椅子ではなくカーペットを敷いて和やかムードの会となりました。

習い事はスイミングをやらせたいという方が多くいらっしゃいました。

調布市内にはいくつかスイミングスクールがあり、それぞれの情報がありました。

私的には親子スイミングがお勧めなのですが、ママたちはプールには入りたくない人がほとんどなので、是非、土日にパパとスキンシップを兼ねて とご紹介しました！

その他、サッカー、和太鼓、ピアノ、公文などなど情報交換ができました。

後半は、センター長より現在の発達センター状況や来年度の事などをお話いただいた後に、交流会のアイデアを出していただきました。

多数の賛同を得たのが「フリーマーケット」

といっても無料で着られなくなったものを提供するというものです。

その他、旧あゆみ学園卒園者が利用している市内の事業所に参加を呼び掛けたり、学校のクラブ活動からコーラスや楽器の演奏会をしてもらおうという案もでました。

センターのグループ利用者の方からは発表会のようなものをするのも良いかもなどのアイデアをいただきました。友の会からの要望としてセンターへ提出予定です。

さて次回のおしゃべり会ですが、新学期が始まり少し落ち着く6月頃を考えています。

次回からテーマや日にちを決めたり、案内を作成するなど、私と一緒にやってくれる方を募集いたします。

1階掲示板の友の会ポストかメールで連絡お待ちしております。

また、4月から小学校へ行かれる方はお子さんの事を話す場があまりなくなるかと思ひます。おしゃべり会の参加は卒園後も可能ですので、メーリングリストへ登録しておく事をお勧めします。こちらにも1階ポストにメールアドレスを投函してください！



親の会「みんなのサポートネット」



親の会 みんなのサポートネットからのお知らせ (後日チラシも掲示します)

子ども発達センター/NPO 法人調布心身障害児・者 親の会 共催
～身体機能面で配慮が必要なお子さんを持つ方へ～

「先輩ママとの懇談会」

日時： 2月5日(土) 13:30～15:30

場所： 子ども発達センター 1階ホール

*年に一度の貴重な懇談の機会です。先輩お母さんの話をお聞きしたり、
情報交換、交流もできます。

親の会 みんなのサポートネット 企画

「ひとりぼっちにならないで…」～家族も隣のおばあちゃんも、皆で笑って子育てしよう～

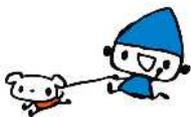
講師： (映画「星の国から孫ふたり」原作者)

日時： 平成23年2月18日(金) 10:30～13:00

場所： 国領あくろす 3階 あくろすホール(国領駅北口、西友の上)

(講演会と、後半は各自持参の昼食を食べながら門野さんとの懇談会です)

*自閉症のお孫さん二人とのハプニング続出の毎日をパワーのもとにしている門野さんのお話は、
爆笑しながら最高に元気がでます！



編集後記

あけまして、おめでとうございます。

新しい年も、子ども達の元気な笑顔でスタートしました。お正月はどのようにお過ごしになったでしょうか？
初詣やお正月遊び、お出かけなど、いつもとは違う経験を楽しめたことと思います。

新しい年も、お子さん達にとって豊かな生活が送れますように…。

本年もどうぞよろしく願いいたします！



調布市子ども発達センターの愛称、イメージキャラクターは、子どもの発達支援の拠点として市民の皆さんに親しまれ、気軽にご利用いただくために、公募した中から選ばれたものです。おたよりほか、いろいろなところで愛用しています。

愛称 「スクッピー」

「すくすく成長するように」という願いがこめられています。

イメージキャラクター



調布名物のだるまさんに、手足がついて、ついでに耳まではえてきた、日本でたったひとつ、縁起の良いころころとした、うさぎだるまさんです。いつも子どもたちをやさしく見守り、気がついたらそばに寄り添っているような、ふんわりとしたイメージでキャラクターを作成していただきました。